

第2次那須塩原市総合計画 第6回 審議会

開催年月日 : 令和4(2022)年8月8日(月)

開催時間 : 14時00分~15時40分

開催場所 : 那須塩原市役所 本庁舎 201・202会議室
(オンライン会議も開催)

委員

No.	氏名	出欠	No.	氏名	出欠
1	飯島 恵子	○	13	平井 正美	
2	市村 典子	○	14	鈴木 耕二	○
3	臼居 芳美		15	小泉 秀夫	○
4	高秀 正人	○	16	藤田 英之	
5	大島 三千三	○	17	三浦 真紀	○
6	佐藤 和寿		18	三田 妃路佳	○
7	岡田 陽介	○	19	室越 礼一	○
8	齋藤 優	○	20	山口 佳子	○
9	佐藤 幹雄	○	21	篠崎 剛史	
10	田中 志		22	山島 哲夫	○
11	田村 ひろみ	○	23	尾又 正志	
12	橋本 秀晴	○			

1 開会

2 あいさつ

3 議事

(1) 後期基本計画案（素案）について

(資料1,2について事務局説明)

【会長】

膨大な内容でどういう形で議論を進めるかが難しい。最終的には8月19日のパブリックコメントなどを経て、9月27日の答申に向けてとなるが、今の段階で気づいたところがあれば発言してほしい。

【委員】

30ページの土地利用構想の基本方向という中で3つの市街地エリア(黒磯・那須塩原・西那須野)について、西那須野駅周辺は行政として何をするのか分からない。那須塩原市の人口の減少を最小限にとどめているのは西那須野の出生率の高さである。そのあたりに着目して西那須野駅周辺の開発について検討していただきたい。

【会長】

土地利用構想については、様々な計画で決まっているものであり、黒磯、那須塩原についてははっきりとビジョンが見えているが、西那須野については確かにはっきりしていないところがある。今回の計画を踏まえて、西那須野駅周辺について具体化していくと思う。

【委員】

総合計画は行政運営のバイブルである。この計画で謳わないと個別の計画に上がってこない。この基本計画の中で西那須野をどのようにしたいか明確にしないといけない。

【会長】

ビジョン策定には議論が必要であり、この総合計画の中ではなく、西那須野のビジョンを作るかの議論をする別の場を設けて話さないといけない。確かに西那須野のビジョンははっきりしていないが、この場で西那須野のビジョンを明確化する方が問題である。

【副会長】

西那須野の駅前の再開発については巨額の資金を投資して開発を行い、現在、那須塩原市としては一旦開発が完了したという認識である。委員の言うとおりに、新しい西那須野周辺地域の開発ビジョンについてこれから考えていく必要はあると思う。

【事務局】

今回、後期基本計画ということで、今後5年間については那須塩原駅周辺の開発がメインになっているが、確かに西那須野地区は子育て世代が多く住んでおり、西那須野の開発は次の計画で議論していく内容になると考えている。

【委員】

資料2のことで、那須塩原市らしさを表すということは結構大事なことだと思っていて、那須塩原市のイメージを教えていただけるとありがたい。

【事務局】

まだ、粗い状態であるが、那須塩原市の魅力(生乳生産量本州一・自然が豊か)について、シティプロモーションのページなどを1ページ計画に付け加える予定である。原案が出来た段階で委員の皆様と共有したい。

【会長】

シティプロモーションは非常に大事であるので、そのページは詳細版だけでなく、簡略版にも必ず掲載してほしい。シティプロモーションの考え方は非常に大事である。

【委員】

那須塩原市の雰囲気シティプロモーションだけでなく、「こういう施策をしているから那須塩原市はすごい」というようなシティプロモーションをしてほしい。

定性的な話になるが、「3 誰もが生き生きと暮らすために」において、男女共同参画のところアンコンシャスバイアスというワードが出てきているが、それを書くならジェンダーバイアスなどではないか。

もう一点、「自助、共助、公助、互助」というワードがたくさん出てきている。福祉の観点で大切だが、整合性や必要性についてもう一度確認してほしい。

【事務局】

確認する。

【委員】

65ページのまちの安全安心について、資料が少ない印象がある。避難行動要支援者への配慮で自助ではなく公助が国からも求められているが、互助に関する言及が全くなく、福祉的な視点が薄いのではないか。

【事務局】

前期計画では基本施策3-1に書いていた。しかし、今回中身が見えなくなっているため、どの基本施策に書くかを含めてもう一度検討する。

【委員】

分野横断的なところを明確にさせていただいてありがたいが、DXと具体施策が別のように見える。デジタル部門は権限を持っておらず施策を進められないことが良くあるので、全庁的にデジタル化を進めていくことを明記したほうが良いと思う。

【会長】

重点的テーマについてはDXとゼロカーボンは全体の施策に関連しており、すべての施策の前提になっている。そのことを分かりやすく表現したほうが良いと思う。

【委員】

男女共同参画の推進の立場から、何にでも取り入れて考えられるということを若者に広めたいと考えているが、なかなか上手くいっていない。若い世代の人たちに社会活動に入ってもらいたいという意識がある。那須塩原市らしさの中に若者の参画しやすさを書くなどしてはどうか。

【会長】

確かにそれは大事かもしれない。

【委員】

今の話に関連するが、男女共同参画のためには、男性の育休取得など、職場への働きかけが必要になってくる。職場における子育ての理解やワークライフバランスについて、もう少し記載してもいいのではないか。

【会長】

事業者の役割で少し記載があるがもう少し記載の仕方を考えてほしい。

【委員】

心ということを重視しているので、施策7-2の学校教育の充実において、スクールカウンセラーということが記載されていないがそれには理由があるのか。スクールカウンセラーについては子供たちが助けられており、記載が必要だと思う。

見栄えについて主な取組の部分では、数字の後に中黒があったり、網掛けがあったり統一されていないので修正してほしい。

基本政策7のタイトルが「未来を拓く心と体を育むために」となっているが教育現場では「知・徳・体」を重視しており、タイトルでは「知」の部分が表現されていない。今回、修正は出来るか分からないが次回計画策定時には検討してほしい。

【委員】

11ページについて多様性はジェンダーがまず考えられがちだが、高齢者・障害者なども含まれているべきだと思う。

【事務局】

検討する。

【委員】

今回の基本計画の特筆すべき点は重点テーマを定めたところだが、具体的に個々の施策にどう反映されているかが分からない。DXについては施策がまとめられており、他の3つのテーマも施策をまとめるべきだと思う。または、全体に係ることであれば、SDGsのように各施策にどう反映されているかを分かりやすくすると良いと思う。

今回の計画のメインは新庁舎建設だと思うが、ニューノーマルやDX、県北拠点づくりなどに影響はあると思う。そこら辺をしっかりとレビューしてほしい。

個別の話をする、「まちの安全安心を守るために」の分野で、交通安全で子供たちを守ることは子育てしやすいまちに繋がると思う。那須塩原市でも交通安全プログラムの中身をもう少し検討したほうが良い。基本計画の中でしっかり位置づけて中身を定期的に見直すなどした方が良いのではないかな。

【会長】

確かに交通安全教室しか交通安全の取組がないが、このあたり出来る範囲でもう少し充実させてほしい。

重点推進テーマと那須塩原市がどう関連してくるかが分からないので、重点推進テーマの記載をもう少し詳しく書くか、個別の施策の中で言及していくかしてほしい。

【委員】

SDGsの考え方について前回提案したところ見直しがされて良かった。ヤングケアラーや生活困窮者などの言及がされ、専門用語に注釈がつけられてかなり見やすくなったと思う。

【委員】

前回の意見書で景観形成をあげたが、空き家等が景観を壊しているところがあるので空き家の調査等をこの辺りに盛り込んでほしい。

【委員】

生乳生産量本州一だとしてもその次のことが伝わらない。加工品を作る産業を強化するなどをまちとして打ち出していくのはどうか。そういう施策が欲しい。

また、現在の那須塩原らしさと将来の那須塩原市らしさの2軸で考えればよいと思う。

【事務局】

6次産業化については施策6-6の農観商工の連携強化の部分で記載している。

【会長】

生乳生産量本州一は今から15年以上前からの話だが、その時から言われていることである。この

辺り、副市長から意見はあるか。

【副市長】

どこかに出荷するだけでなく、形を変えて消費者に働きかけるということは重要。6次産業化含めて消費者と向き合う必要はあると思う。

【副会長】

農観商工の連携のところで、コロナ禍で会議が進まず、那須塩原ブランドがまだまだできていない。那須塩原市の特産品のブランド化をもっと進めていきたいと思う。

【会長】

ひととおり、委員の発言が済んだので他に発言したい人はいるか。

【委員】

重点推進テーマについて、カタカナが多く、市民に響かない。もう少し分かりやすく市民に伝わるように「このまちは安全安心で住みやすい」ということをニューノーマルのところに書いてほしい。

これからは協働が重要であり、市としても打ち出していると思うので、福祉だけでなくもっと書いた方がよいと思う。

【委員】

那須塩原市らしさについて今回議論があったが、「生乳生産量日本2位」では若者は魅力的に感じない。もっと他県の人にアピールできるようにした方がよい。

【会長】

具体的にやることがあれば橋本委員のように言えるが、那須塩原市の場合は難しいのではないかな。生乳日本2位から拡大して6次産業化など産業の発展につなげ、じわじわと住みやすいまちにつなげていくことになっていくと思う。

【委員】

何か他では解決できない難しい問題を積極的に解決しにいくみたいな取組をすると若者には魅力的に感じると思う。全国で誰もやったことない課題を乗り越えていくことを重点推進テーマにあげて取り組むことでそれをまちの魅力につなげていくことが出来ると思う。

【委員】

那須塩原市も数年後には重層的支援を役所だけでなく地域全体で作ろうとしているが、そこらへんに先駆けてできればよいと思う。やる気のある市民は多いと思う。

【会長】

確かにそう思う。那須塩原市で課題解決が出来たというものがあれば若者にとって魅力的にはな

と思う。

【委員】

地域の活力などに関わることだが、若者が地域への関心があまりないということが問題である。産業活性化が挙げられているが、若者が地域に関心を持たせるような取組をもっとしていく必要がある。学校など若者を核とした地域創生を行っていく必要がある。そのあたりが記載されていないと思うので記載してはどうか。

【委員】

生涯学習の施策では、突然成果指標にコミュニティスクールが書かれているが、那須塩原市の実態としてはほとんど進んでいない。

【委員】

地域の方から学校に働きかけていく必要がある。地域の良さを学校で子どもたちと発見していくことが那須塩原市で大事だと思う。

【委員】

地域との結びつきを強化してからコミュニティスクールを作っていこうとしている。今は学校が地域に支えられているが、いずれは学校から地域に働きかけが出来ればと思う。

【委員】

地域から学校、学校から地域の双方向性をもっとアピールできればと思う。

【副会長】

最近では地域に子供たちが出て行って大人の働き方を学ぶなどしている。コロナの影響で地域の歴史を伝えるイベントが中止になってしまっており、残念に思う。リーフレットで市の歴史を子どもたちに学んでもらうなど、去年から始まっている。コロナで様々なまつりが中止になっているが、子供たちのために地域とのかかわりを子どもたちと我々が作っていかなければならないと思う。

【会長】

今日、様々な意見が出たが、それらを市の方でまとめてもらって修正等してパブリックコメントに出していただき、次回の審議会につなげてほしい。

(2) その他

(今後のスケジュールについて事務局から説明)

【委員】

審議会の議事について記録は残っているか。

【事務局】

記録には残しているが、整理できていない部分もあり一部公表までにはいたっていないものもある。

【会長】

箇条書きでもいいので作っていただき共有していただきたい。

4 閉会